

令和4年度 第1回岡山市子ども・子育て会議 全体会議事録要約

日時：令和5年1月27日（金） 午後2時00分～午後3時12分

場所：岡山市勤労者福祉センター 5階 体育集会室

開会

- ・局長挨拶
- ・委員自己紹介
- ・会長、副会長の選任
- ・会議成立確認：委員20名中16名出席により会議成立

議事（議事進行は会長）

議題（1）岡山市子ども・子育て支援事業計画2020の進捗状況について

【事務局から資料に沿って説明】

- 会長 事務局から説明があったが、委員の皆様のご意見とかご質問とかお願いしたい。
- 委員 少子化の中で、令和4年の出生数が恐らく80万人を割るという見込みがあるが、量の見込みというのをもう一度見直すということはないのか。
- 事務局 指摘いただいた量の見込みについては、児童数の減少に伴う保育の量の見込みの修正をかけているので、一括してそこで説明をする。
また、ほかの事業、あと11事業については、来年度、見直しに着手する年度になっているため、その時にアンケートを取り、修正を考えている。
- 委員 8ページの養育支援訪問事業のところ、コロナの影響等で減ったということだったが、結構減っていると思う。コロナだから来れないから、逆に行く訪問は多くならないのかと思うが、そこを教えてほしい。
また、7ページの乳児の全戸訪問のところ、対応を専門職での対応に切り替えたと書いてあるが、これはどういう人が行くのか教えてほしい。
- 事務局 7ページのこんにちは赤ちゃん事業では愛育委員さんに行ってもらっているが、コロナの影響の期間、専門職というのが保健師それから助産師、そういった職種で対応した。

8ページの養育支援訪問事業については、コロナの関係で訪問の間隔が空いた部分は保健センターの保健師が少し対応したり、あと平成29年とか30年の頃には産後ケアという事業がなかったが、その後に産後ケアという事業ができたため、そちらの事業を出産後に利用する人とか、それから訪問看護ステーション等を利用する人も年々増えてきたので、養育支援訪問事業のみだった頃に比べると、ほかのサービスも利用されるようになり、件数がコロナと併せて減ったと考えている。

○委員 愛育委員による乳児の全戸訪問で、感染が厳しい状況のときは保健師さんに行ってもらったが、できる限り愛育委員が訪問させてもらった。コロナでどこにも行く場所がないから来てほしい、来てもらってうれしいという感じがとてもあった。その時期は赤ちゃんを絶対抱っこしないように、赤ちゃんには絶対触らないようにという厳しいお達しの下で訪問した。

コロナがない頃はずっと赤ちゃんを抱っこして、ゆっくり話を聞くことができたが、それができなかつたのがとても残念だった。コロナで行けないため、とてもいろんな場面の数が減っているが、赤ちゃんが生まれ育っているという状況はずっと続いていたため、使えなかつた人たちがどうなっていたかがとても気になる。

○事務局 地域とつながるということで、岡山市は愛育委員さんにこんにちは赤ちゃん事業をお願いしている。他の自治体は専門職の人に行ってもらうところもあるが、そういう意味では、感染対策をするということで大変心苦しい場面があったが、本当に愛育委員さんに頑張っていたいただいたと思う。

○会長 それでは、よろしいか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議題 (2) 岡山市子ども・子育て支援事業計画2020の一部改定について

【事務局から資料に沿って説明】

○会長 事務局から説明がありましたが、委員の皆様のご意見とかご質問とかお願いしたい。

○委員 17ページの②のところで、可能な範囲で公立園の定員を見直すと書いてあるが、公立園がない場合はどういう方策を取るのか。また、既に民営化されたこども園で、1号の需要が少なくなってきた時に、その穴埋めを2号、3号でやろうというのには該当しないのか。

○事務局 可能な範囲で公立園の定員を見直すというのは、岡山市全体で見ていくなど、中学校単位だけではなく、さらに近隣のエリアも含めて定員を見直すということ。

1号を減らして、その分2号を増やすのではないかについては、提供区域内の需給バランスなどを見ながら適切に対応していきたいと考えている。

○委員 17ページ②の確保方策の考え方のところで2点確認したい。

1点目は、計画自体が、平成31年のアンケートを基に、計画を立てているという話だが、今後、潜在的ニーズのところを改めて調査をするという計画はあるのか。

また、2点目は先ほどの17ページの②で、従来の現行方策でいくと、ゼロから2歳を地域型保育等の新設で3歳未満児の定員を確保するという形になっていたものが、改定後のところになると、全体的なもので調整を図っていきますという感じのニュアンスのものになっている。提供区域の近隣等も併せて調整を行うということだが、年齢的なものによる調整等はどのように考えているのか。保護者は、2歳ぐらいで預けようと思うと実際には入れないので、生まれてすぐのゼロ歳から預けざるを得ないという声も聞く。どのように考えているのか。

○事務局 潜在ニーズの調査については、今回の計画の改定では新たには行っていないが、次の支援事業計画を策定するに当たって、来年度以降になるが、アンケート調査を実施する予定としているため、そこで新たなニーズ調査を行うことを考えている。

0歳から2歳までの対応として、地域型保育事業の新設によりというのが消されているということだが、岡山市全体として見れば保育の需要は大分足りてきているということになるが、年齢によっては確かに足りてない可能性がある。そこは足りている部分からであったりとか近隣の企業主導型であったりとか、様々な保育の受皿を検討し紹介をしていきたいと思っ

ている。

○委員 兄弟3人がばらばらの園に行かないといけなかったり、それはとても困っていると聞くので、数として足りているとしても、そういうことも含めて解決の方向が見えているのか。

まだ0歳とかで小さい子はしばらく家で見てもいいなという人もいるが、その後、同じ兄弟が別々の園になってしまうのはとても困るので早めに申し込んでおくというようなことが実際問題としてあると聞いている。

そういう細やかな配慮もなされた上での数なのか 知りたい。

○事務局 兄弟の同時入園について、定員の弾力化によって児童を受け入れるということも既に公私問わず行っている。そういった中で、またコンシェルジュのほうから一定の質が担保された企業主導型の認可外保育施設も含めて受皿を紹介している。あわせて、兄弟については、加点をしての入園も実施している。

ご指摘のとおり、数字だけでは見えない部分があると思っている。繰り返しになるが、提供区域内の需給バランスをしっかりと見ながら、適切な定員管理、定員設定について行っていきたいと考えている。

○会長 実際に困っている家庭があるということなので、そのあたりについても考えてもらい、数字だけではないと思うので、よろしく願いしたい。

それでは、よろしいか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議題 (3) 地域子育て支援拠点事業の拡充について

【事務局から資料に沿って説明】

○会長 事務局から説明がありましたが、委員の皆様のご意見とかご質問とかお願いしたい。

○委員 支援事業を今44か所で実施しているが、今後も拡充はするが民間に委託する形と説明があった。公立園でもしたらいいと思うが、そこの提案がない。なぜ地域の子育て支援事業のところを公立で担わないのかと思うが。

○事務局 現在も公立3園では実施しているが、最初は6つの福社區を基準に、徐々に園の改築とか新たに新設するときに合わせて少しずつ増やしたという経過がある。公立の園については、御津とか灘崎とか、私立でできないようなところを補完する形で事業を実施している。

公立園も今3か所あるが、どこも非常にたくさん利用者があり、活動も活発にしてもらっているところだが、まず今回は民間のノウハウを利用してということで、事業者の公募、募集によって新たに増やすことを考えている。

○会長 基本的には公立で増やしていかないという方向なのか。

○事務局 そうです。公立は今3園でやっていて、今回新たに拡充するのは民間の事業者を公募するよう考えている。

○委員 方針は分かるが、子どもの数が減っているという事実があって、子どもが減っているから見込みの数というか施設の量も減らしますという計画、基本的には子どもの数に合わせて見込みに合わせて施設の量を減らしていくという計画だと思うが、子ども・子育て会議なので、今後子どもをどうやって増やしていくかを個人的には議論したいと思う。市がどういうふうの子育てを担っていくのかというところになるため、頑張ってもらいたいと思う。私立が今18園やっている中で、さらに私立ということではなく、数から見れば公立が頑張ってもいいと思うところもある。計画としては分かった。

○委員 愛育委員はこんにち赤ちゃん事業もしているが、親子クラブさんの応援もしていて、保育園に行っていないなど家で子どもさんを見ている人たちの大変さ知っている。この資料が配られて、こういう形が始まればとてもいいと思いつつ、たったこれだけですかというとても残念な気持ちがある。

私の近くにいる人で、4人子どもを育てていて大変な状況だが、どこにも預けていない。一番上のお兄ちゃん是不登校になりかけているという状況で、手助けが必要だが、仕事をしているわけではないから私がちゃんとしなさいといけなさいと言われている。家で子どもを育てている人たちに対してもう少し温かい場所が増えてほしいと思う。民間に委託されるとどんな形になるか何とも分からないが、どんな形であれ伸ばしてほしい。保育園に行っていない人たちにも温かい政治をしてほしいと思う。

○会長 今後も拡充し、これを広げていって、いろんな地域へという意見なので、よろしく願いしたい。

○事務局 貴重な意見ありがとうございます。

今回は、乳幼児人口が多いにもかかわらず、中学校区、小学校区で見たときに拠点がないところを優先的に5か所ということで選んでいるが、既存の拠点も含めて、新しい拠点、今まで行ってきた拠点も含めて全体的に事業の活性化を図って、それでもなお足りてないということになれば、次の計画をつくるタイミングでまた全体を見ながら考えていきたいと思う。

○会長 ありがとうございます。

それでは、よろしいか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議題 (4) その他

○会長 それでは、議題(4) その他ですが、何かありますか。
よろしいか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○会長 今日予定していたすべての議題はこれで終了です。委員の皆さんから意見が出たので、その意見を受け止めていただき、今後の施策などを進めていく上で生かしてもらえたらと思う。よろしく願いしたい。

閉会